

ほげんだより

第5号

愛川町立中津小学校
保健室
令和8年6月22日

学校薬剤師の小山先生を紹介します！

中津小学校では、学校薬剤師の小山先生にお世話になっています。教室の空気や照明、水道水などの環境衛生検査を行い、子どもたちが安心して学校生活を送れるよう支えてくださっています。また、保健室でも薬や感染症、学校環境衛生などについて相談させていただくなど、日頃から連携しながら子どもたちの健康を守っています。

6月20日(土)から7月19日(日)までの1か月間、全国において「『ダメ。ゼッタイ。』普及運動」が実施されています。本校では、毎年3学期に6年生を対象とした薬物乱用防止教室を実施しています。今回は、小山先生から「**薬物乱用防止**」についてメッセージをいただきました。



私は、中津小学校で学校薬剤師を担当しており、普段は愛川薬局に勤務している小山です。毎年夏と冬の時期に学校に訪問させて頂き、教室の空気、照度の検査等を実施しています。今年もよろしくお願いします。

私からは、昨今、現役プロ野球選手やバレーボール選手の危険薬物使用での逮捕等も発生している状況も踏まえ、薬物乱用防止についてお話させていただきます。

薬物乱用とは、もともと病気の治療等に使う医薬品や、塗料等の工業用の薬品、その他一般にはよく知られていない薬物等を遊びや快楽を目的に使用することをいいます。このような目的で薬物を使用する行為は、たとえ1回でも乱用にあたります。この中に「危険ドラッグ」と呼ばれるものも含まれ、人体の摂取を目的としない物であるかのように装ってインターネット等で販売されています。これらには、法律で規制されている麻薬・指定薬物等の成分が含まれているものもあり、乱用により、身体に様々な悪影響を引き起こす要因になります。薬物乱用の特徴として、依存性と耐性が問題になります。使用量・回数増の危険なサイクルに陥ります。「1回くらいなら」の気持ちが、一生をダメにしてしまいます。

この薬物乱用から、自分を守るために必要なことは、様々な誘惑から、きっぱりNOと断る、やらない勇気が薬物の魔力から家族・お子様の人生を守ります。薬物乱用防止活動では、ご家庭、学校、地域でのサポート環境がとても重要です。危険薬物等の使用を誘われたりして悩んだ時は、家族や先生、地域の相談窓口にぜひ相談してみてください。薬物から身を守るため、自分自身を大切にしていきましょう。

※裏面に相談窓口を掲載しておりますのでご覧ください。

【地域の相談窓口】

県精神保健福祉センター ☎ 045-821-6937 祝日除く月曜 13:30～16:30

県保健福祉局生活衛生部薬務課 ☎ 045-210-4972

県警本部 広報県民課 ☎ 045-664-9110

県警本部 少年相談保護センター ☎ 045-641-0045

*フリーダイヤル ☎ 0120-457-867

厚木保健福祉事務所 ☎ 046-224-1111

横浜いのちの電話 ☎ 045-335-4343

川崎いのちの電話 ☎ 044-733-4343

小山先生から薬物乱用防止について、大切なお話をいただきました。

子どもたちには、正しい知識を身につけるとともに、困ったときには一人で抱え込まず、周りの大人に相談できる力を育ててほしいと思います。ご家庭でもぜひ話題にしてみてください。

～保健室より～

養護実習を終えて

5月から保健室で学んでいた養護実習生が、6月5日に実習を終えました。検診の補助や保健指導など、さまざまな場面で子どもたちと関わらせていただきました。子どもたちの温かい声かけやご協力のおかげで、充実した実習となりました。

ありがとうございました。



爪は短く清潔に

最近、爪が伸びている児童を見かけます。長い爪は、友だちや自分を傷つけてしまったり、汚れや菌がたまりやすくなったりします。手洗いとあわせて、爪の長さも時々確認してみましょう。ご家庭でのお声がけをお願いいたします。

朝ごはんは元気な一日を

朝ごはんは、眠っていた体や脳を目覚めさせる大切なエネルギー源です。朝ごはんを食べることで、勉強や運動に集中しやすくなります。忙しい朝もあると思いますが、食べられるものを少しでも口にして、一日を元気にスタートできるとよいですね。

